



## 「九条改憲 NO！」の民意を示した参院選

7月21日に行われた参院選で、私たちは九条改憲にNO!の審判を下しました。自民党、公明党、維新の会などの改憲勢力は160議席に留まり、発議に必要な164議席(定数の2/3)を割り込みました。

私たちの「代田・九条の会」も含め、全国の地域や学園、職場に生まれた「九条の会」や「総がかり行動実行委員会」などの市民団体が、津々浦々で繰り広げた「安倍九条改憲NO! 全国3000万人署名」は、九条改憲に反対する世論の形成に決定的な役割を果たしたと確信しています。

この全国規模の市民運動は、市民と野党の共闘をより強固にする役目も果たしました。市民と野党の共闘は、安倍九条改憲反対をはじめとする13項目の共通政策に合意し、全国32の1人区の選挙区全てで野党統一候補を実現しました。10の選挙区では、統一候補が自民党候補に勝利し、改選前の2議席から10議席へと大躍進を果たしました。この躍進は、九条改憲にNO!の審判を下すことにつながりました。

選挙後、安倍首相は「2020年に改憲を実現する目標は変わらない」と述べ、改憲の執念を露わにしています。これは選挙で国民が示した「九条改憲NO!」の民意を真っ向から否定するものです。このような策動を打ち砕くため、私たちは全国の九条の会や市民運動と連帯し、「九条改憲NO!」の声をより多くの人たちに届けなければなりません。市民と野党の共闘を一層揺るぎないものにしていくことも不可欠です。継続は力です。途切れことなく「九条壊憲NO!」の声をさらに高く上げていきましょう。(代田2丁目・坂本 功)

### 資料 参議院選挙後の新たな改憲情勢を迎えて

九条の会 2019/7/29

参院選を経て、安倍改憲をめぐる情勢は新たな局面に入りました。2017年5月3日の改憲提言以来、自民党は衆参両院における改憲勢力3分の2という状況に乗じて改憲を強行しようとさまざまな策動を繰り返してきましたが、その後2年にわたり市民の運動とそれを背にした野党の頑張りによって改憲発議はおろか改憲案の憲法審査会への提示すらできませんでした。そして迎えた参院選において、改憲勢力は発議に必要な3分の2を維持することに失敗したのです。

3分の2を阻止した直接の要因は、市民と野党の共闘が、「安倍政権による改憲」反対、安保法制廃止をはじめ13の共通政策を掲げて32の一人区全てで共闘し、奮闘したことです。また、安倍9条改憲NO! 全国市民アクション、九条の会が、3000万署名を掲げ戸別訪問や駅頭、大学門前でのスタンディングなど草の根からの運動を粘り強く続けることで、安倍改憲に反対する国民世論を形成・拡大する上で大きな役割を果たしたことも明らかです。

しかし、安倍首相は任期中の改憲をあきらめていません。それどころか首相は、直後の記者会見において「(改憲論議については)少なくとも議論すべきだ」という国民の審判は下った」と述べて改憲発議に邁進する意欲を公言しています。これは、安倍首相一流のウソを本当のように言うもので、参院選の期間中もその後も、「安倍政権下での改憲」に反対の世論は多数を占め、改憲勢力が3分の2をとれなかったことこそが真実です。

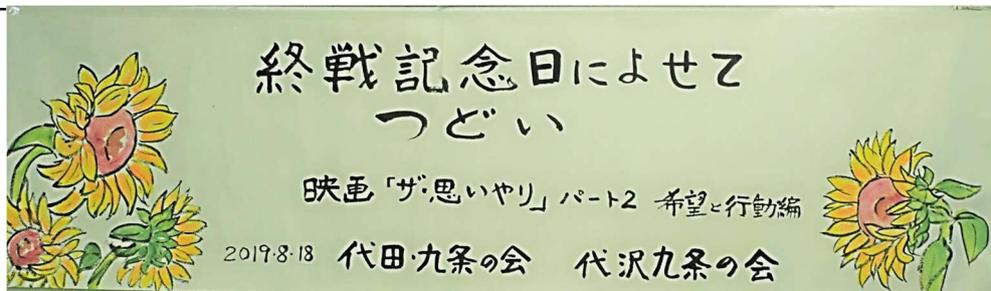
ところが、安倍首相は、自民党案にこだわらないと強調することで、野党の取り込みをはかり3分の2の回復を目指すなど、あらゆる形で改憲強行をはかろうとしています。

安倍9条改憲を急がせる圧力も増大しています。アメリカは、イランとの核合意から一方的に離脱し挑発を繰り返した結果、中東地域での戦争の危険が高まっています。トランプ政権はイランとの軍事対決をはかるべく有志連合をよびかけ、日本に対しても参加の圧力を加えています。こうしたアメリカの戦争への武力による加担こそ、安倍政権が安保法制を強行した目的であり、そして安倍9条改憲のねらいにほかなりません。辺野古新基地建設への固執、常軌を逸したイージスアショア配備強行の動きも9条破壊の先取りです。

6年半を越える安倍政治への不信とあきらめから、投票率が50%を割る事態が生まれています。この民主主義の危機を克服し再生するためにも、市民一人一人の草の根からの決起が求められています。参院選で3分の2を阻んだ市民の運動に確信をもち、安倍9条改憲NO!の3000万署名をさらに推進し、広範な人々と共同して草の根から、9条改憲の危険性を訴える宣伝と対話の活動を強めましょう。

同時に、どんな口実であろうと自衛隊の有志連合への参加・自衛隊の海外派兵、さらなる軍事力の増強を許さない闘いを、安保法制の全面発動、実質的な9条破壊を許さない闘いとして取り組みましょう。





毎年、終戦記念日によせてつどいを行なってきましたが、今年は8月18日の午後、代沢九条の会と合同で「ザ・思いやり」パート2—希望と行動編—という映画を見て、感想を出し合い交流しました。

映画は、日本に住むアメリカ人、リラン・バクレーが、沖縄、三沢基地、厚木基地など基地に反対する人々を取材。何が思いやり予算かを、沖縄国際大学の前泊教授に聞くと、H28年度で総額7611億3千万円、今は1兆円を超えている！ 基地の防音対策

(少しも効果なし) や地代、もちろん移転費用も。災害時の仮設住宅は1棟238万円程度だが、米軍用の住宅は1棟5500万円！

米兵の起こした犯罪の賠償金までも日本が負担しているという、信じがたい事実！ 日本人はどのくらい知っているのでしょうか。

交流では、演劇人の19日のスタンディング行動

(朝7:30-8:30)を続けていること(ちょうど次の日でした)文化予算はたったの1000億円、安倍政治を終わらせたい、若い人々にどう関心を持ってもらったらいいか、無関心は若者だけじゃない、自分でできる行動はなど、様々発言してもらいました。

今、パート3を制作中とのこと。

参加者は38人。とても暑い中、足を運んでいただきました。あきらめず、できることから行動することしかないと肝に銘じました。全国にがんばっている人々がいます。(代田4丁目・萱野 幸子)



## 集会等の紹介

8月24日(土)から

映画：「米軍(アメリカ)が最も恐れた男 カメジロー不屈の生涯」

場所：ユーロスペース(渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 3F 03-3461-0211)

料金：一般1800円、シニア1200円

9月8日(日) 午前10時～11時 3000万署名行動

小田急線・梅ヶ丘駅前

少し涼しくなってきました。臨時国会も始まることになっています。

世田谷区内では、6日から9日にかけて一斉宣伝署名行動が行われます。

9月19日(木) 午後6時半～ 第48回「19日行動」

安倍9条改憲NO! 安倍政権退陣! 9.19国会議員会館前行動

場所：衆議院第2議員会館前を中心に

共催：戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

安倍9条改憲NO! 全国市民アクション



日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、

「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++